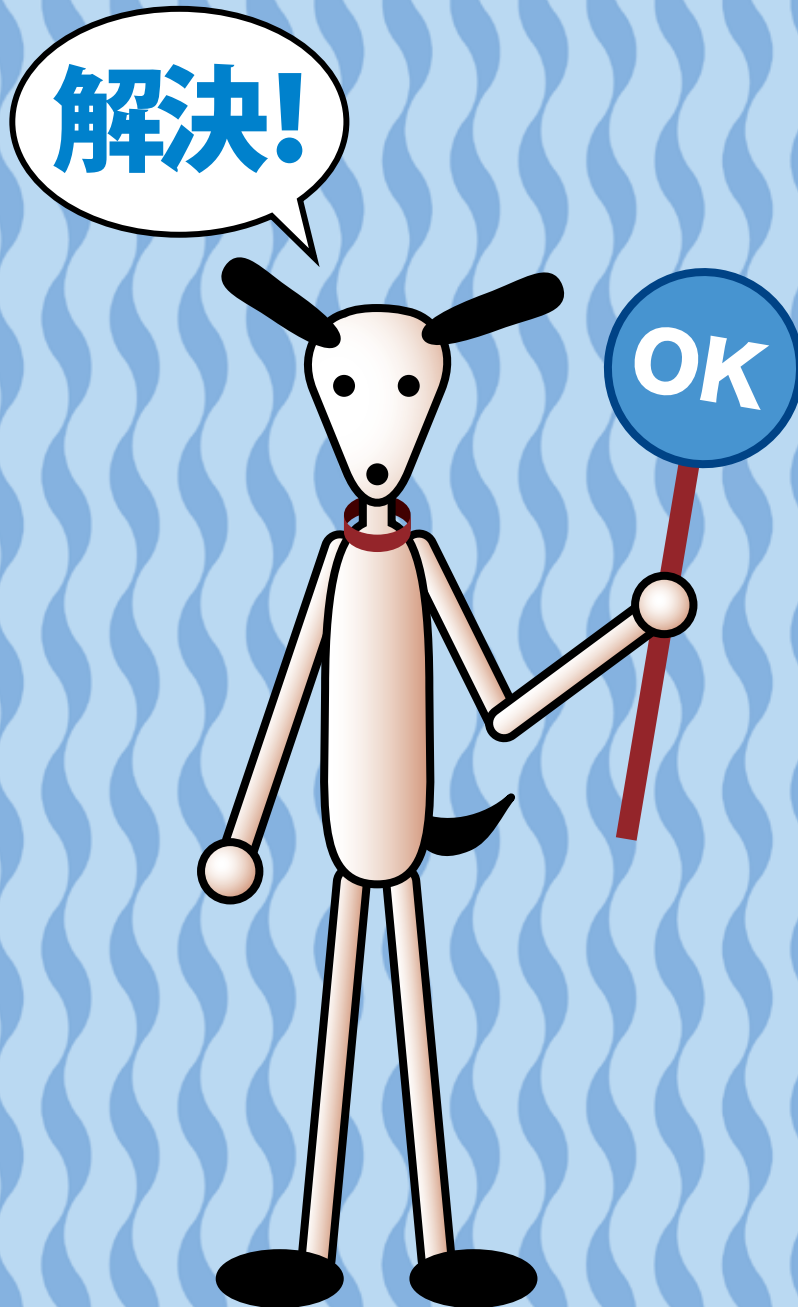


# はじめての仮想化

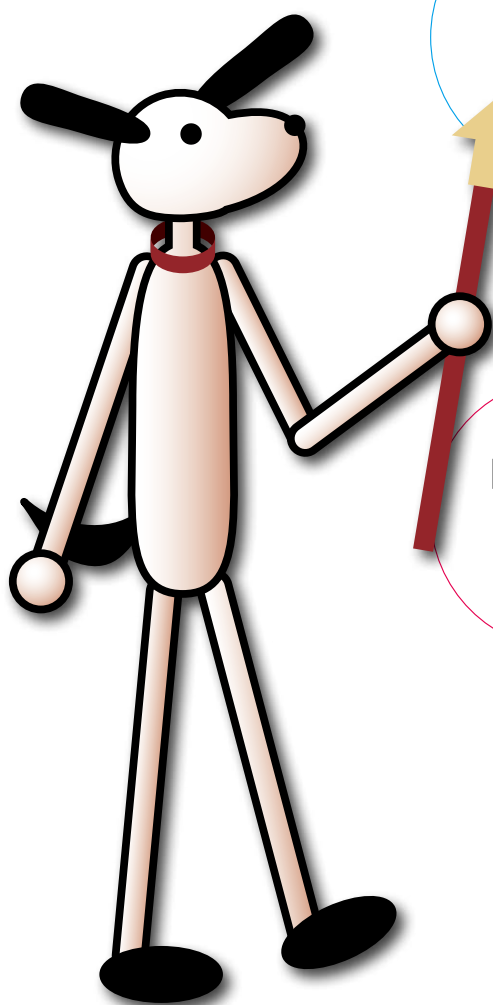
◎サーバ編◎



# サーバの仮想化で “お困り”を解決!

最近よく聞く“サーバの仮想化”。興味があるけれど、仮想化ってなに？ どうやればいいの？  
そんな、サーバ仮想化の疑問にお答えします。

興味のある項目をたどると、きっと問題解決に役立つ情報が見つかります。



仮想化の  
ギモンを  
解決!

日常業務の  
ナヤミを  
解決!

仮想化って?

仮想化の方法は?

運用や保守が複雑にならないの?

仮想化ソフトウェアは、どのようなものがある?

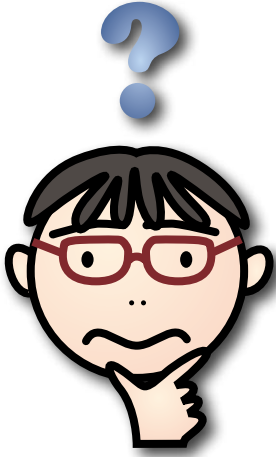
仮想化は“お得”なの?

仮想化のサポート体制にはどのようなものがあるの?

重要な業務で使っているサーバの保守契約が切れそうで…

開発用・本番用とサーバの数が増えて、  
構築に時間がかかってたいへん…

いろんなところにサーバが散在して…



仮想化ってなに…? まずは基本のおさらいから

P.04

仮想化ソフトウェアを利用します

P.06

サーバ集約+運用管理ツールで運用効率が上がります

P.08

主要製品は、VMware®、Hyper-V™、Red Hat仮想化ソフトウェアです

P.06

コストや設置スペースのスリム化、エコ対策につながります

P.04

富士通は、仮想化ソリューションセンターを開設しています

P.12

仮想化対応のサーバに一新すれば、  
仮想化環境で業務アプリケーションを継続利用できます

P.10

すばやいサーバ構築、開発から本番への移行などの自由度が上がります

P.10

仮想化で、台数集約と処理能力の有効活用が可能になります

P.08

P.04

こんなとき  
サーバ仮想化が  
生きてくる

P.06

用途にあわせて  
仮想化ソフトを  
選ぶ

P.08

サーバを  
集約・統合する

P.10

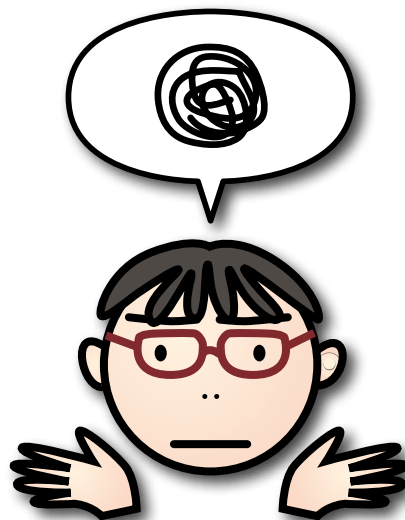
サーバを  
効率よく使う!

P.12

富士通の  
仮想化  
ソリューション

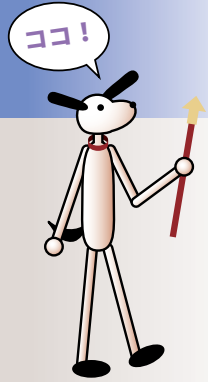
P.14

PCサーバ  
PRIMERGY  
ラインナップ



# P.04

こんなとき  
サーバ仮想化が  
生きてくる



## こんなときサーバ仮想化が生きてくる コスト削減や古いシステムの継続利用がやりやすくなります

1台のサーバ上に複数の仮想サーバを構築するのが、サーバの仮想化です。  
機器の最適配置、業務アプリケーションの継続利用など、  
ITインフラの自由度を上げることができます。



仮想化って?



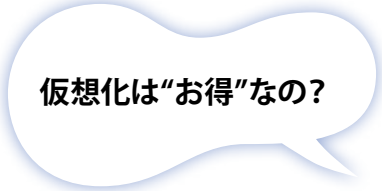
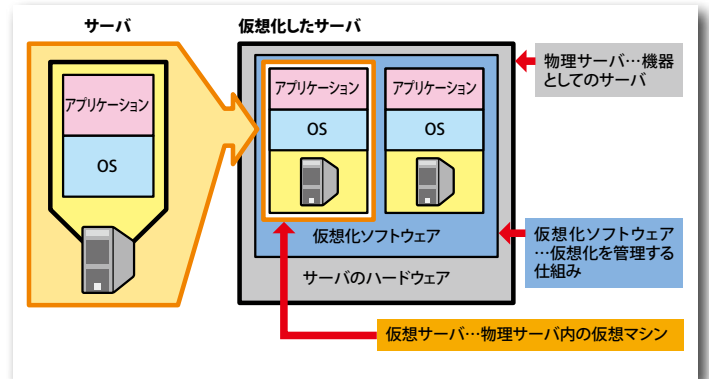
### 仮想化って?... まずは基本のおさらいから

#### まるで複数台のサーバがあるように動作

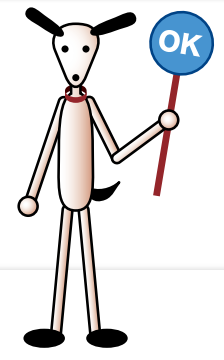
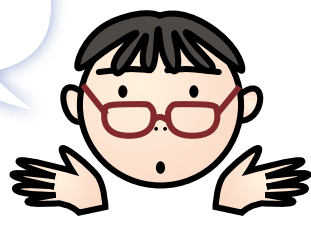
物理サーバの中で複数の仮想サーバを動作させます。これまで多くのサーバで稼働していた業務を少数のサーバに集約することが可能になります。

#### 仮想化ソフトウェアがサーバを管理

仮想化ソフトウェアがサーバ全体を管理します。これまで使っていた環境を、仮想環境に移行します。



仮想化は“お得”なの?



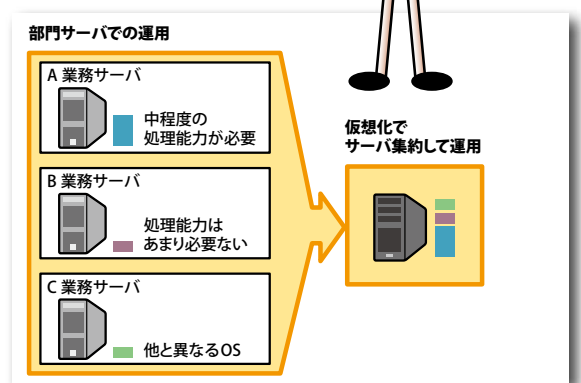
### コストや設置スペースのスリム化、 エコ対策につながります

#### 仮想化によるコスト削減とエコ

仮想化によってサーバ台数を集約すると、サーバ購入費用の低減や設置スペースのスリム化を図れます。また、消費電力も削減され、同時にCO<sub>2</sub>の排出量も低くできます。

#### 旧システムを継続利用

物理サーバを新しいサーバに取り替えても、旧システムが動作する仮想サーバを構築すれば、旧システムを使い続けることができます。



サーバの  
仮想化では  
ここに注意

### サーバ仮想化の目的を 決めましょう

仮想化で解決したい目的と優先順位を明確にしましょう。多くの企業は、コスト、運用性、可用性、将来の発展性などのメリットをサーバ仮想化に求めています。



# 用途に合わせて仮想化ソフトを選ぶ

## 仮想化ソフトウェアが仮想化環境を管理します

サーバに仮想化ソフトウェアをインストールして仮想化環境を動作させます。  
仮想化ソフトウェアの主流は、  
VMware®、Hyper-V™、Red Hat仮想化ソフトウェアの3種類です。

### P.06

用途にあわせて  
仮想化ソフトを  
選ぶ

仮想化の方法は？



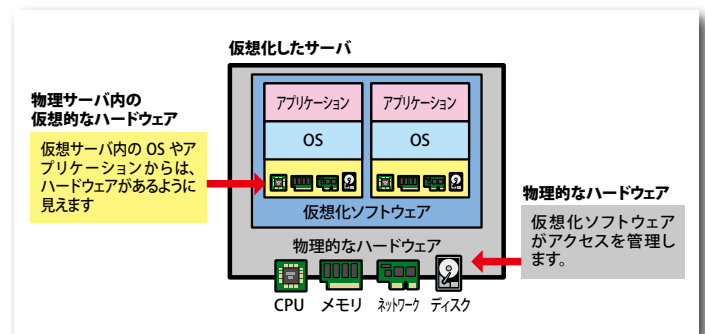
### 仮想化ソフトウェアを利用します

#### 仮想化ソフトウェアが物理マシンと仮想サーバを管理

仮想化サーバの構築では、最初に仮想化ソフトウェアをサーバにインストールします。仮想化ソフトウェアは、CPUやメモリなどの物理ハードウェアを仮想サーバ内で共有し、物理マシン上で複数のOSを動作させます。

#### 仮想化ソフトウェアのインストールは簡単

仮想化ソフトウェアのインストールは、すごく難しいとされていますが、容易に導入できるようになっています。



仮想化ソフトウェアは、  
どのようなものがある？



### 主な製品は、VMware®、Hyper-V™、Red Hat 仮想化ソフトウェアです

#### VMware®

導入実績No.1のヴァイエムウェア社提供の仮想化ソフトウェアです。仮想サーバ上で動作するゲストOSは、Windows NT~2008、Red Hat Enterprise Linux v4~v5です。VMotion、HAなど運用管理を行う機能が充実しています。

#### Hyper-V™

マイクロソフト社提供のWindows Server 2008に同梱された仮想化ソフトウェアです。簡単かつ安価に仮想化システムを導入できます。System Center Virtual Machine Managerにより、物理環境から仮想環境への移行や、複数のサーバにまたがった仮想環境の運用管理などが可能です。

#### Red Hat 仮想化機能

Red Hat Enterprise Linuxディストリビューションに同梱される仮想化ソフトウェアです。コストパフォーマンスとRed Hat Enterprise Linuxとの親和性に優れ、多様なLinuxシステムの開発環境を集約することができます。

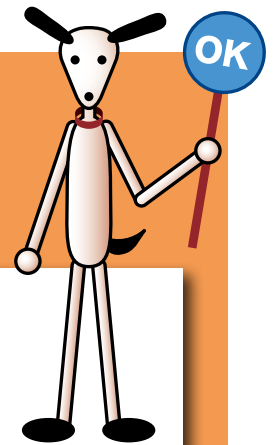
サーバの  
仮想化では  
ここに注意

#### どんなサーバでも仮想化できるの？

採用予定のサーバが仮想化に対応していることや、さらに仮想化ソフトウェアがそのサーバに対応している必要があります。つまり、サーバと仮想化ソフトウェアの両ベンダーが動作を保証しているかを確認しましょう。

#### 仮想化ソフトウェアはどう選ぶの？

上にあげた3つの主要な仮想化ソフトウェアのどれを使うかは、まずハードウェアとソフトウェアの現在の環境を調査します。そして、過去の資産の継承と将来の発展を視野に入れて、ベンダーにご相談ください。



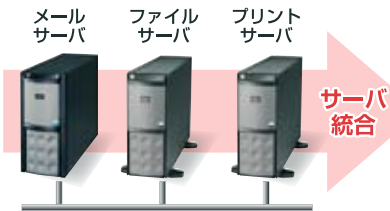
# メリットの大きいサーバ仮想化のパターン

## 1. 複数のサーバを仮想化サーバに統合・集約

Windows、Linuxなど異なるOSのシステムも同じハードウェアに集約でき、物理サーバのリソースを無駄なく効率的に利用できます。

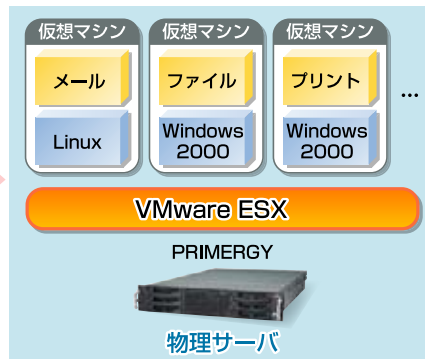
これまで

VMwareによるサーバ統合



複数のサーバが社内に分散していました。

仮想化後



仮想化で、設置場所や消費電力、ハードウェア保守費を削減。管理・運用の一元化による工数削減も果たせます。

## 2. 異なるOS環境が必要な開発・テストを効率化

テスト環境を仮想化することで、すばやく開発作業を開始でき、多様なテスト環境を容易に構築できます。

これまで

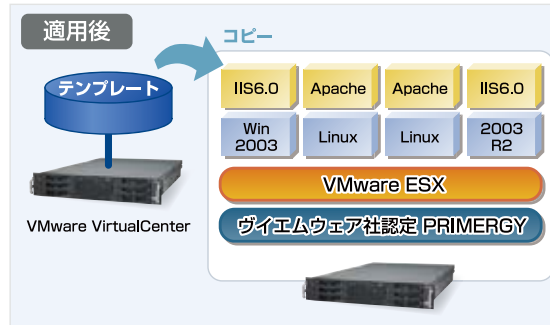
適用前

Win 2000	IIS5.0
Win 2003	IIS6.0
Win 2003 SP1	IIS6.0SP1
Win 2003 R2	IISxx
Red Hat ES	Apache x
Red Hat ES 3	Apache xx
Red Hat ES 4	Apache xxx



複数のサーバを用意したり、異なる環境作成の作業がたいへんでした。

仮想化後



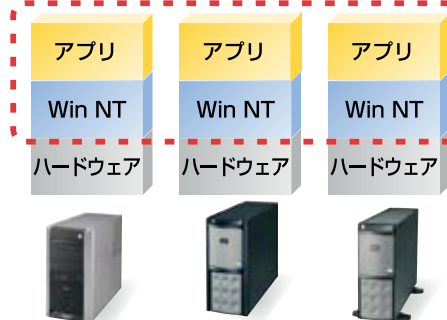
仮想化で、テンプレートに保存された環境を再利用することで、テスト環境再構築の手間が省けるようになります。

## 3. 古いシステムの移行や継続利用

ハードウェア保守が切れたサーバなどは、仮想化で最新のハードウェアで動作させれば、本格移行までの間の継続利用が可能になります。

これまで

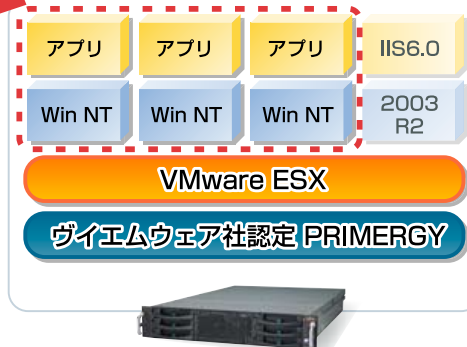
旧 OS 資産



保守契約なしで運用するサーバが心配でした。

仮想化後

最新ハードへそのまま移行



現在利用中の環境をそのまま活用でき、最新のハードウェアに移行しても、システムの使い勝手を維持できます。

# サーバを集約・統合する

## 仮想化で、ITリソースの有効活用とスリム化を図りましょう

サーバ集約は、仮想化の最大のメリットです。乱立したサーバを集約すれば、設置スペースや消費電力、機器費用などのスリム化やコスト削減を進められます。

いろんなところに  
サーバが散在して…



**仮想化で、台数集約と  
処理能力の有効活用が可能になります**

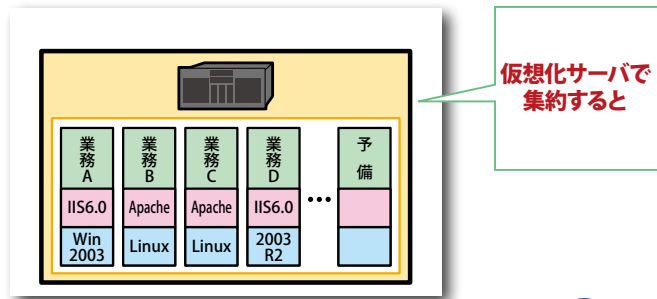


### サーバのスリム化

仮想化により、オフィスに散在したサーバの統合・集約が容易にできます。ブレードサーバを導入すると、さらにコスト削減とエコを両立できます。

### ITリソースの有効活用

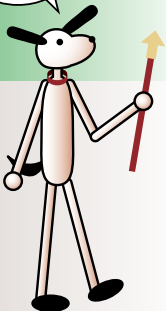
サーバ集約して仮想化することにより、ITリソースのスリム化や最適配置が可能になります。



## P.08

サーバを  
集約・統合する

ココ!



運用や保守が  
複雑にならないの?



**サーバ集約+運用管理ツールで  
運用効率が上がります**

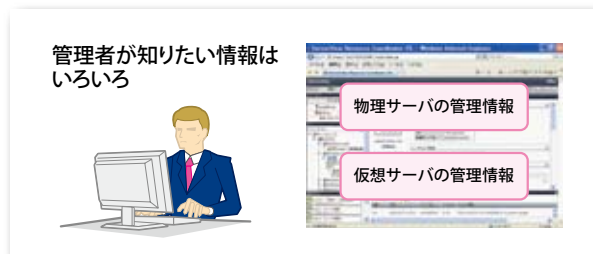


### サーバ集約でコスト削減

仮想化のメリットを得やすいのがサーバ集約です。サーバを集約して仮想化環境に統合すれば、管理対象となる機器を減らすことができます。機器コストの削減だけでなく、運用管理にかかわるコストや負担も軽減できます。

### 物理サーバと仮想サーバを 一元管理できます

物理サーバと仮想サーバを一体で管理・監視できる運用管理ソフトを利用すれば、仮想化のメリットに加えて、運用上の自由度を増しつつ管理負担を軽減します。



**サーバの  
仮想化では  
ここに注意**

**サーバ集約をすると  
ハードウェア障害時の  
影響が大きくなります**

仮想化ソフトウェアには、VMwareの機能であるVMotionなど可用性を上げる仕組みが備わっているものもあります。

**サーバの運用管理には欠かせない  
ソフトウェアのチェックをしましょう**

物理/仮想サーバを仮想化によって集約するとき、可視化のできる運用管理ソフトの導入は欠かせません。運用管理ソフトウェアの機能や性能のチェックも必要です。





# サーバを効率よく使う！

業務システムの継続利用や、すばやいサーバ構築で効率アップを図ります

旧バージョンのOSが必要な業務アプリケーションや、多様なバージョンのOS/ミドルウェア環境が必要なシステム開発・テストにはサーバ仮想化が最適です。仮想化により、構築や運用の自由度を得て、業務効率を上げることができます。

重要な業務で使っているサーバの保守契約が切れそうで…



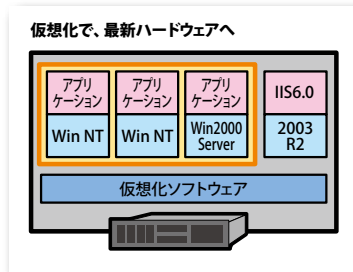
## 仮想化対応のサーバに一新すれば、仮想化環境で業務アプリケーションを継続利用できます

### 旧OSを最新ハードウェア上で稼働

仮想化を利用すれば、サーバが新しくなっても、業務アプリケーションを使い続けることができます。

### サーバと業務アプリケーションの更新時期を分離

サーバのハードウェアと業務アプリケーションの更新タイミングのズレは今後も避けられません。仮想化の採用で、こうした問題を避けることができます。



P.10

サーバを効率よく使う！

開発用・本番用とサーバの数が増えて、構築に時間がかかってたいへん…



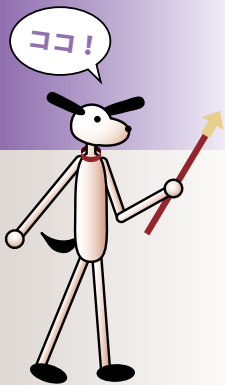
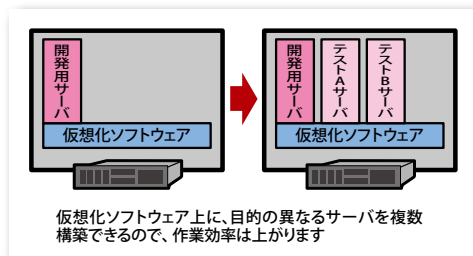
## すばやいサーバ構築、開発から本番への移行などの自由度が上がります

### サーバ環境の構築のスピードアップ

仮想化が可能なサーバを導入することで、メモリなどのリソース割り当てやOS環境などの選択の自由度が上がります。開発時の仮想サーバの構成を変更して、本番環境へ移行することもできます。

### 開発・テスト環境の共存や、仮想環境の複製も可能

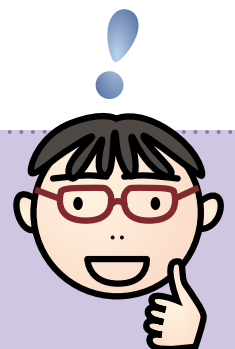
複数の開発・テスト環境を1台のサーバに構築することができます。サーバを再インストールすることなく、異なるOSでのテストを同時に進められるなど、作業効率が上がります。仮想環境をコピーして新たな仮想サーバを起動して、別のテストを行うことも容易になります。

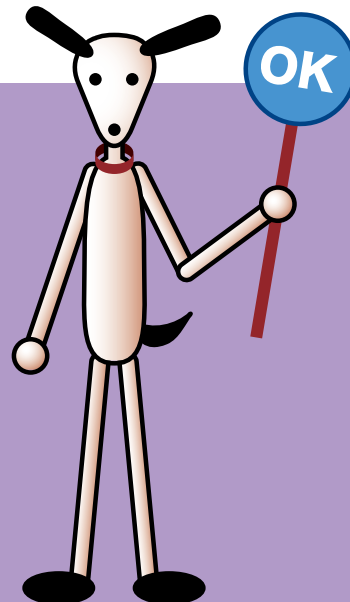


サーバの仮想化ではここに注意

### ライセンス費用の算定もお忘れなく

仮想サーバにOSやアプリケーションをインストールする際のライセンス費用を確認しましょう。製品や契約の内容によって、ライセンスの算定方法が異なる場合があります。





## 事例で見る仮想化のメリット (Hyper-V)

### 基幹システム再構築のための検証環境に仮想化を利用 株式会社A様

株式会社A様は、利用開始から数年を経て老朽化の始まった基幹システムの再構築に、Hyper-Vによる仮想化を活用しています。

現状の基幹システムは、PRIMERGY RX300によるアプリケーションサーバとデータベースサーバです。ハードウェアの更新を具体的に考えなければならない時期に来ていました。

新基幹システムへの移行にあたって、データベースサーバのミラーリングによる信頼性の向上、最新OS/データベースにも対応することを目標としました。一方で、基幹系システムだけに確実な移行が求められました。そのため、新システムの検証をしなければなりません、特別な投資をするのは難しい状況です。検証環境の構築は重要な課題として浮上しました。

複数の案の中から、株式会社A様はHyper-Vによる仮想サーバを3つ構築して機能検証を進める方法を採用しました。

Hyper-Vによる仮想サーバを構築することは、初期投資額を下げられる上に、検証の自由度が高まること大きな利点となりました。またこうした、検証用ハードウェアのコスト削減に加えて、物理サーバ数が減ることで電気代のコストが年間2万円ほど安くなりました。

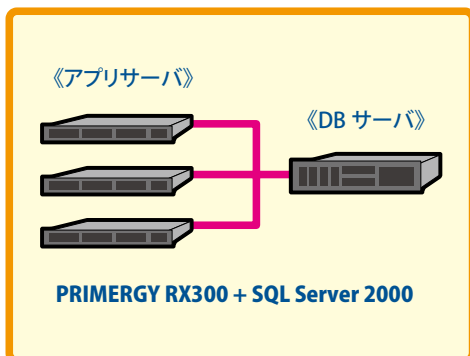
株式会社A様は、こうした検証環境による検証を踏まえて、新基幹システムの最終案を検討しています。

#### 【Hyper-Vによる検証環境構築によるメリット】

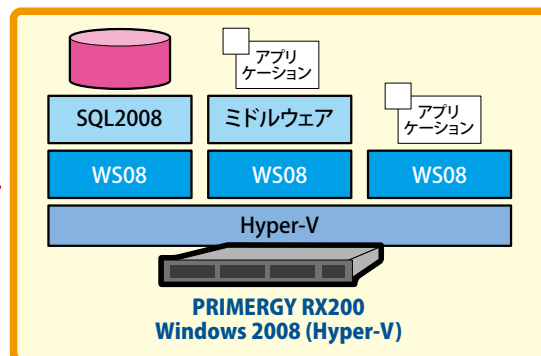
- ・検証用ハードウェアのコスト削減 (3台⇒1台)
- ・初期導入コスト 約60万円削減  
※ミラーサーバ RX200・プリンシパル RX100で計算
- ・消費電力 約2万円/年 (1日8時間運用)削減  
※ RX200(438W)/RX100(210W)で計算

### A社の基幹システム更新の流れ

#### 【現行基幹システム】



#### 【検証開発環境】



F's  
point

富士通の仮想化は、ここがポイント！

### すばやいサーバ構築に優れているPCサーバ PRIMERGY

PRIMERGY RX300  
ラック型サーバ



充実した機能により高性能・高信頼を実現する  
2WAYラック型サーバ

PRIMERGY BX900  
ブレードサーバ



性能・可用性・運用性を  
高いレベルで兼ね備えたブレードサーバ

富士通の仮想化対応PCサーバは、サーバ統合や仮想化技術による、すばやいサーバ構築ができ、運用の効率化やコスト削減を実現します。クラウド・コンピューティング・サービスなど、ITシステムの大きな変化にも柔軟に対応できます。グローバル品質とワンストップサポートで、お客様に確かな競争力と成長力をご提供いたします。

# 富士通の仮想化ソリューション

## 仮想化システム導入の課題解決を的確にサポートします

富士通では、仮想化技術の進歩と広がりを的確に捉え、コスト削減はもとよりお客様の企業価値を高める仮想化ソリューションのご提供に力をそそいでまいります。

仮想化のサポート体制には  
 どのようなものがあるの？



### お客様の課題を解決する 富士通の仮想化ソリューション

日々進化している仮想化システムを導入する場合、「適用領域や製品選定が難しい」「導入効果が不明確」などの課題があります。こうした課題を解決するため開設されたのが「仮想化ソリューションセンター」です。専門技術スタッフが企画、設計から検証、構築、運用までをサポートして、お客様の仮想化システム導入を成功に導きます。



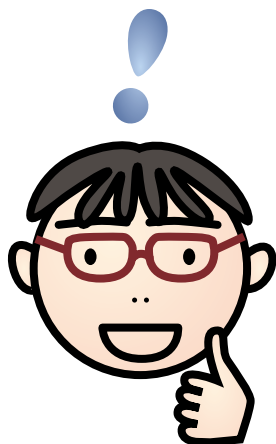
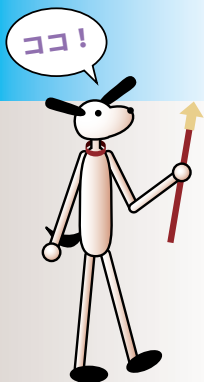
検証ルーム(18室)

### 仮想化技術の進歩と広がりを的確に捉えて ソリューションに反映

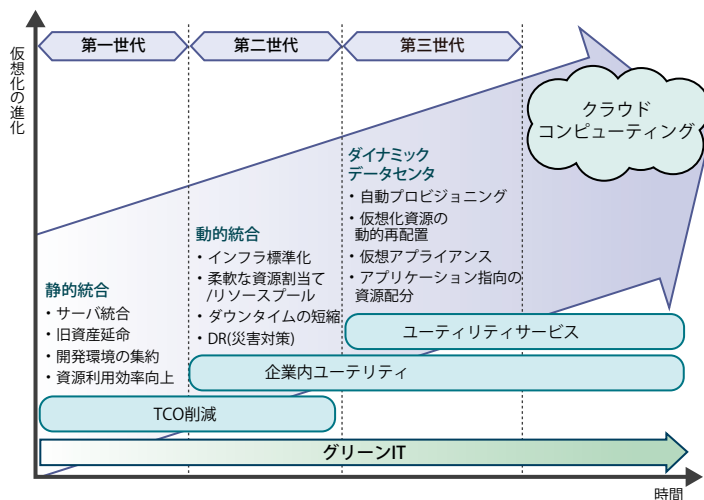
サーバ集約や旧資産の継続利用、資源利用効率の向上など、あまりネットワークを意識しない静的統合を第1世代、ネットワークを通じてシステムを動的に移動できる動的統合は第2世代と位置付けられます。そして第3世代では、仮想化資源の動的再配置が自動的におこなわれるダイナミックセンターへと、仮想化の適用領域は広がっていきます。また、グリーンITへの貢献面でも仮想化技術には大きな期待が寄せられています。富士通は、このような仮想化技術をソリューションとしての的確に反映いたします。

P.12

富士通の  
 仮想化  
 ソリューション



■ 仮想化技術の進歩と広がり



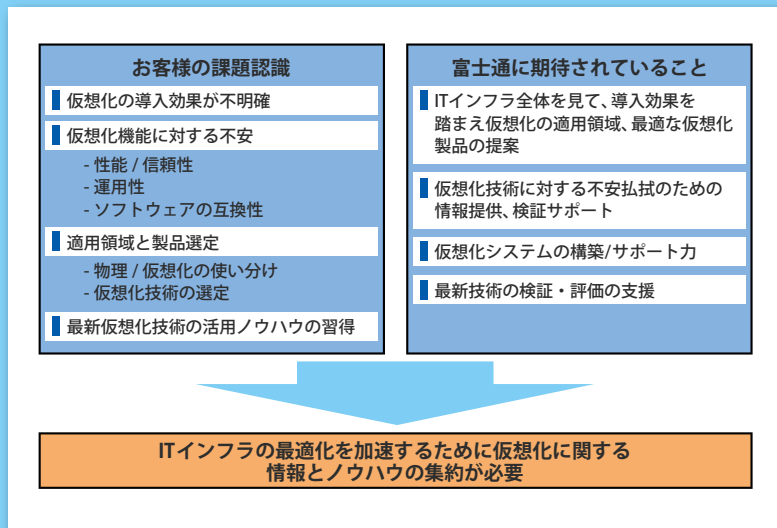
# 検証と技術支援で仮想化を成功に導く「仮想化ソリューションセンター」

## 仮想化システム導入の成否のカギを握る検証と技術支援

仮想化システムの導入を検討すると、次のような課題が見えてきます。

- 仮想化導入効果が不明確
- 性能や信頼性、運用性など  
仮想化機能に対する不安
- 適用領域と製品選定の難しさ
- 最新仮想化技術の活用

また、こうした課題だけではなく、仮想化システム導入にむけてさまざまなご要望が寄せられています。このような課題の解決、ご要望にお応えするために開設されたのが「仮想化ソリューションセンター」です。



## 仮想化ソリューションセンター4つのサービス

仮想化ソリューションセンターでは、「総合的な技術支援体制の確立」「ワンストップの技術サポート」「お客様システムの検証支援」「フィールドSEの育成」という4つのサービスをご提供しております。

### ①総合的な技術支援体制の確立

多様化・複雑化する仮想化システムの最適なシステム構成や組み合わせの検証、専門技術スタッフによる総合的にコンサルティングや技術サポートをおこないます。

### ②ワンストップの技術サポート

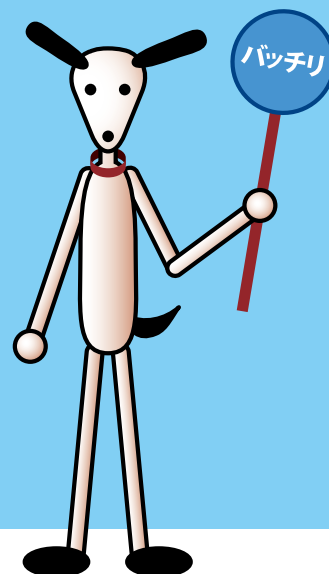
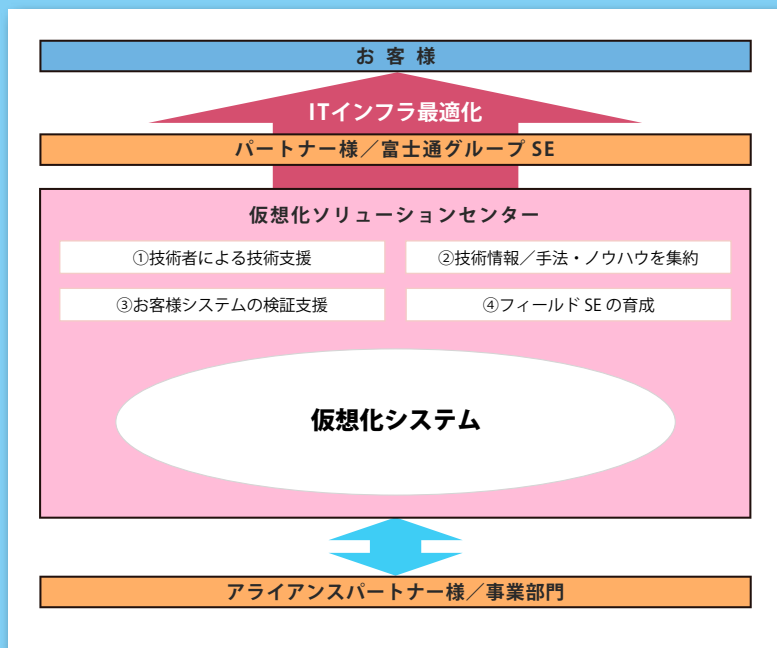
仮想化技術に精通した専門技術者が、お客様の仮想化システム導入に関して、企画・設計から検証、構築、運用までワンストップで技術サポートをおこないます。

### ③お客様システムの検証支援

専門技術者の支援のもと、事前にご導入予定のハードウェア、ソフトウェアを同じ環境で検証／評価／サイジングすることができます。最適なシステム構成、組み合わせが検証できます。

### ④フィールドSEの育成

「仮想化ソリューションセンター」では、お客様の仮想化システム活用形態に合わせたトレーニングメニューを用意し、仮想化技術に精通した専任技術者の指導によるフィールドSEの育成をおこなっています。



# PCサーバ PRIMERGY ラインナップ

富士通PCサーバ PRIMERGY(プライマジー)は、お客様のソリューションに最適な製品ラインナップを提供しています。

	4WAY	2WAY
ラック型サーバ	<p><b>VMware</b> <b>Hyper-V</b></p> <p><b>RX600 S4</b> 品質と信頼性へのこだわりを追求した4WAYラック型サーバ</p> 	<p><b>VMware</b><sup>*1</sup> <b>Hyper-V</b></p> <p><b>RX300 S5</b> 充実した機能により高性能・高信頼を実現する2WAYラック型サーバ</p> 
タワー／ラック兼用型サーバ		<p><b>VMware</b><sup>*1</sup> <b>Hyper-V</b></p> <p><b>TX300 S5</b> インテル® Xeon® プロセッサを搭載した、性能と拡張性を兼ね備えた2WAYタワー／ラック兼用型サーバ</p> 
ブレードサーバ		<p><b>VMware</b> <b>Hyper-V</b></p> <p><b>BX920 S1</b> 大規模なシステム運用に求められる、性能・可用性・運用性を高いレベルで兼ね備えた新ブレードサーバ</p> 
高信頼サーバ		

## P.14

PCサーバ  
PRIMERGY  
ラインナップ

**VMware** = VMware® 認証サーバ

**Hyper-V** = Hyper-V™ 対応

<sup>\*1</sup> SASモデルのみVMware® 認証サーバ

<sup>\*2</sup> 次の場合は、Hyper-V™機能は未サポートです。TX100 S1でインテル® Pentium® プロセッサ E5200またはインテル® Celeron® プロセッサ 430搭載時、TX120 S2でインテル® Celeron® プロセッサ 575搭載時、TX150 S6でインテル® Core™2 Duo プロセッサ E7400搭載時、RX100 S5でインテル® Core™2 Duo プロセッサ E7400またはインテル® Celeron® プロセッサ 430搭載時。

## 1WAY

VMware Hyper-V

### RX200 S5

省スペース化を追求しながら  
高い信頼性を実現した  
高さ1Uの2WAYラック型サーバ



Hyper-V<sup>\*2</sup>

### RX100 S5

インテル® Xeon® プロセッサを搭載した  
高さ1Uの1WAYラック型サーバ



コンパクトサーバ

Hyper-V<sup>\*2</sup>

### TX120 S2

低消費電力と静かさを追求した  
高信頼 1WAYコンパクトサーバ



VMware<sup>\*1</sup> Hyper-V

### TX200 S5

インテル® Xeon® プロセッサを  
搭載し、拡張性に優れた 2way  
タワー/ラック兼用型サーバ



Hyper-V<sup>\*2</sup>

### TX150 S6

静音設計で静かな  
オフィス運用を実現する  
1WAYタワー型サーバ



タワー型サーバ

Hyper-V<sup>\*2</sup>

### TX100 S1

コストパフォーマンスに優れ、  
オフィス利用に最適な1WAYエントリーサーバ



VMware Hyper-V

### BX620 S5

インテル® Xeon® プロセッサを搭載した  
高性能2WAYブレードサーバ



### TX300HA S5

クアドコアに対応し、高可用性を実現する  
2WAY高信頼サーバ



### TX300FT S5

冗長電源/ファンを標準搭載した、  
高信頼サーバ





- Intel、インテル、Pentium、Intel Core、Xeon、Celeronは、米国インテル社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-Vは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Ethernetは、米国ゼロックス社の登録商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとした全ての商標とロゴは、Red Hat Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- VMware、VMotion、VMware ESXiは、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 商品には、定期的な交換が必要な部品が含まれており、交換には別途費用が必要となります。なお定期点検を含むSupportDesk契約では、定期点検時に本製品の予防交換を実施し、商品を良好な状態に保ちます。
- 商品の保守サポート期間は、お客様の購入後5年間です。
- 弊社からお客様指定場所へ機器を納入する場合、別途配送料が必要となります。納入地が複数に分かれる場合は、配送料が異なりますので、弊社営業または販売パートナーまで、お問い合わせください。
- 各種ドライバやBIOS、ファームウェア、添付ソフト等の最新モジュールを以下のダウンロードサイトに提供しております。システム安定稼働のため、常に最新モジュールを適用して頂くことを推奨いたします。尚最新モジュールのダウンロードおよび適用作業は、お客様自身で実施願います。(弊社作業をご依頼される場合は、有償にて承ります。弊社担当営業もしくは販売店までお問合せください)  
<ダウンロードサイト><http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

\*このカタログのハードディスク等の容量表記は1GB=1000Byte換算値です。1GB=1024Byte換算のものとは表記上同容量でも、実容量は少なくなりますのでご注意ください。  
\*周辺機器への接続については「PRIMERGYシステム構成図」等をご参照ください。  
\*本製品は日本国内仕様です。弊社では本製品に対する海外での保守サービスおよび技術サポートはおこなっておりません。

## グリーン製品

### ■「グリーン製品」の提供

当社の厳しい環境評価基準(省資源化、リサイクル設計、化学物質含有/使用規制、省エネルギー、環境情報の提供、など)をクリアした地球に優しい、環境への負荷の少ない「グリーン製品」として提供しています。

富士通の環境についての取り組みの詳細は、富士通ホームページ「環境活動」をご覧ください。▶▶▶▶▶



<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

### ■マニュアルの電子化

自然保護、環境への配慮より、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ(PDF)で提供しています。

PRIMERGYの情報を満載したホームページ。

<掲載内容>

- インターネット情報ページ <http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>
- SupportDesk紹介ページ「製品サポート」 <http://segrou.fujitsu.com/fs/>

- 製品情報:最新のPRIMERGYカタログ/価格表
- ソリューション:導入事例等
- 技術情報:ラック構築ガイド等
- レベルアップ情報:ドライバ/添付アプリのアップデート情報
- サポート・サービス:製品、仕様、サポートや保守に関するFAQ等

## 廃棄・譲渡の際のハードディスク内データ消去について

ご使用になっていたPRIMERGYを廃棄・譲渡する際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。詳細につきましては、『インターネット情報ページ』(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/note/>)をご覧ください。



PRIMERGYについてのお問い合わせ、ご用命は、下記にお申し付けください。

### ■RoHS指令

電気・電子機器に含まれる特定化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、PBB(ポリ臭化ジフェニール)、PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)の6物質>の使用を制限する欧州の規定である「RoHS指令」に2006年5月以降発表のPRIMERGYは全機種対応しています。

#### ▲安全に関するご注意

ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。  
火災、故障、感電などの原因となることがあります。  
表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品に選択することができるCD/DVDドライブはレーザーを使用しています。 [クラス1レーザー製品]

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン **0120-933-200**

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター